

		はい	どちらとも いえない	いいえ	
環境 体制 整備	1	○			部屋が広がったことで、活動の場と食事の場(バギーや座位保持椅子を置いている)を別にすることで安全に関しても考慮しています。
	2	○			サビ管1名 正規職員2名 契約雇用2名+1名(土曜・夏休み等) 職員配置については配置基準を満たしておりますが、土曜日や長期休暇の支援の充実を図るため、夏休みや土曜日に増員しています。
	3		○		既存の施設を使用しているため、全ての面でバリアフリーにはなっていない。2階への移動についてはエレベーターを設置しているので、移動がしやすくなっています。
業務 改善	4		○		朝の引き継ぎ時に、当日の予定や昨日の振り返りや保護者からの引き継ぎ等をおこなっています。 業務改善については、その都度話しあう、会議で確認を行いながら取り組むようにはしています。
	5		○		利用者・保護者アンケートを実施し、具体的な意見をいただきながら業務改善への取り組みんでいきます。
	6		○		会報等での公開はできていません。 今後アンケートの結果等については、お便り等を利用してお伝えしていきます。ホームページについては、公開予定である。
	7			○	過年度には第三者評価は受けておりません。 評価の結果については公表し業務改善につなげていきます。
	8	○			毎月職場研修を実施。 児童分野特化し、専門性を高める内容や外部講師による、人権虐待研修や心肺蘇生研修なども実施しています。
	9	○			法人共通のアセスメントシートを使用し、ご家族のおもいや本人の気持ちに寄り添い、出来ること、可能性に注目した計画を作成しています。計画の作成に当たっては、複数の職員で策定会議を実施しています。
	10		○		法人共有の児童対象のアセスメントシートを使用しています。
	11		○		担当者がプログラム作成をおこなっています。必要な時にはグループ会議での検討や相談を行っています。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		活動のプログラムは、1人1人に合うように工夫していますが、固定化される傾向にあるので、今後の課題として取り組みます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		時間スケジュールに沿ったプログラムを作成し、取り組んでいます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		子どもの状況に合わせた個別の課題やグループでの活動目標を設定しています。標準的なグループ遊びや個別の支援については個別支援計画に記載されていない利用児もいます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝の引き継ぎ時に、週間予定で当日の予定や昨日の振り返りや、保護者からの引き継ぎ等おこなっています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		翌日の引き継ぎ時に、保護者との引き継ぎ事項や支援で気づいたことなどを話しあっています。(当日伝える必要があるときは伝えるようにしています)
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録を誰が見てもその場面が理解できるような記載を心掛けています。毎月まとめとして支援の内容を振り返り改善へとつなげています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			最長6か月ごとの計画の見直しを行い、状態や支援内容の変化に伴って都度の検討を行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○		総則中の自立支援、日常生活充実のための活動、創作、余暇などを組み合わせた活動を提供しているが地域交流、体験などに課題を残しています
	関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	
21		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		送迎時の短時間での情報共有が多く時間が十分に取れていないのが現状です。事業所主体で利用児童の情報共有を測っていきたいと考えます。
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		要医療的ケア児の受け入れがないため。今後要医療的ケア児を受け入れるに当たっては体制と必要情報連絡ルートを整備して行きたいと考えます。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		相談支援事業所からの情報共有が多く、事業所利用前関係機関との情報共有、相互理解が十分ではないため、今後事業所間での情報共有や連携を図っていきたいと考えます。
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		学校を卒業し事業所を移行する際に、保護者や事業所から情報の要望があれば提供するようにしています。

ロとの連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		発達支援センターとの連携機会はありませんが、重心児のリハ担当セラピストなどからの助言を受けたり、自立支援協議会児童部会主催の研修を受けたりしています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			同一敷地内で学童保育を運営しており、事業所の行事等での交流を図っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		自立支援協議会への参加を通して地域の情報収集や交換を行っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お子様の発達の状況や課題については、日々の連絡帳や送迎時に保護者との話しや電話での連絡により、情報を共有し連携を深めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		現在ペアレントトレーニングの実施は行っておりませんが、保護者の個別の相談に応じています。今後必要に応じて対応を検討していきます。
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			ご利用開始時に運営規定や重要事項の説明を行っております。また、支援の内容については個別支援計画に沿って説明させていただいております。また利用者負担等の費用に関しては請求書や代理受領等を活用し都度説明を行っております。送迎時に、支援内容や利用時の様子、体調等について伝えるようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。		○		毎日の送迎時に、保護者からの引継やご家庭での様子についての話しをしながら除法を共有させていただいております。ご相談に対しては別に時間を設定したり、関係機関等へのご紹介を行っております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	○			現在利用児童の父母の会は組織されておらず、活動もありませんが、保護者間の連携を図るために保護者参加型行事やイベントへの案内を進め、組織や設立の一助となるように進めています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決マニュアルの整備 苦情が寄せられた場合にはマニュアルに沿って対応しています。 ご意見については記録に残し、事業所にて共有しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、おたよりを発行しあんらんの取り組みや利用児の活動の様子などお伝えしています。またイベントや季節にあった情報も都度盛り込んでいます。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いについては、基本的に外部への持ち出しはしないとしています。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			シンプルで明確な言語やジェスチャーなどの非言語のコミュニケーションを重要視しています。視聴覚障害の利用児童もおり、手話や指文字、サイン言語などの配慮と必要性を感じていますが、使いこなせるに至っておらず、今後の課題としています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		年に一度同系列の事業所で愛あいフェスタを開催し、近隣の住民や圏域内の事業所との交流を図っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		感染症については、職場研修の内容に取り上げ感染予防への意識を高めています。防犯マニュアルや感染予防マニュアルについては保護者への周知はできていません。今後保護者の皆様への周知に努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			火災や水害、地震等を想定した避難訓練を実施しています。消防団を招いて総合防災訓練も予定しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年2回、虐待防止の研修として、事例検討やグループワークを実施し、職員の意識向上に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束の同意については、車椅子からのずり落ち防止のベルトの使用等行っています。使用を前提とする場合は、職員間で検討した後、実施前に保護者から拘束の同意書をいただき支援計画にも記載しています。また、個別支援計画の見直しに合わせて身体拘束の実施状況や必要性等アセスメントを行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者にアレルギー調査票に記入いただくとともに聴き取りを行っています。特別な食事提供が必要な場合は栄養士や看護師との相談も行います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		インシデントの報告を受けて、対応の検討や情報共有の供覧は行っている。事例集については作成できていないが、運営会議で報告のあった事例は職員で共有しています。